

歯科麻酔・全身管理科卒直後研修プログラム 2020年度

(年 月 日)

研修プログラムの概要:

患者に苦痛を与えない安全かつ円滑に歯科治療・口腔外科手術管理を行うために、局所麻酔法・精神鎮静法・全身麻酔法およびペインクリニックの知識・技能を修得する。

取得可能な認定医・専門医資格:

日本歯科麻酔学会認定、認定医・専門医

日本有病者歯科医療学会認定、認定医・専門医

目標全身麻酔症例数:

500症例(全身麻酔 200症例、鎮静法・静脈麻酔およびその他 300症例)

その他ペインクリニック等100症例

月日	研修目的	研修内容	具体的な研修ノルマ	備考
通年随時	麻酔の概念について説明できる.	教科書による自己学習	自己ノート作成	日本歯科麻酔学会入会
通年随時	麻酔・歯科麻酔の歴史全身麻酔, 亜酸化窒素アナルゲジアと亜酸化窒素吸入鎮静法, 静脈内鎮静法, 局所麻酔などの歴史について説明できる	教科書による自己学習	自己ノート作成	
通年随時	麻酔の法と倫理歯科における麻酔業務と法, 研究倫理, 利益相反(COI), 歯科麻酔科研修, インフォームドコンセントなどについて説明できる.	教科書による自己学習	自己ノート作成	
通年随時	全身管理の基本 全身管理に必要な生理学 神経, 呼吸, 循環, 腎に関する生理学, 酸塩基平衡, 内分泌系の機能について説明できる.	教科書による自己学習	自己ノート作成	
通年随時	歯科診療の侵襲と生体反応 侵襲の内容と伝達経路, 侵襲による神経系, 内分泌系, 免疫系などの反応について説明できる.	教科書による自己学習	自己ノート作成	

通 年随時	管理上問題となる疾患の病態 管理上問題となる呼吸系, 循環系, 脳血管系, 代謝・内分泌系, 肝, 泌尿器系, 神経・筋肉系, 精神, 血液の各疾患, 特定疾患, その他の問題となる状態について説明できる.	教科書および文献等による自己学習 歯科麻酔・全身管理科術前カンファレンスに参加	自己ノート作成	
通 年随時	全身状態の評価 診察法ならびに臨床検査について説明できる.	教科書による自己学習 歯科麻酔・全身管理科術前カンファレンスに参加	自己ノート作成	
通 年随時	モニタリング モニタリングの意義を理解し, 呼吸系, 循環系, 体温, 中枢神経系, 筋弛緩のモニタリングについて説明できる. あわせて歯科外来におけるモニタリングの意義と有用性を説明できる.	教科書による自己学習	自己ノート作成	
通 年随時	局所麻酔 局所麻酔薬の作用機序 局所麻酔薬の結合部分ならびにその神経生理学的性質について説明できる.	教科書による自己学習	自己ノート作成	
通 年随時	神経線維の種類による局所麻酔効果の違い 神経線維の種類による局所麻酔効果の違いについて説明できる.	教科書による自己学習	自己ノート作成	
通 年随時	局所麻酔薬 局所麻酔薬の化学構造, 麻酔効果に影響する因子, 薬物動態, 毒性, 各局所麻酔薬の特徴について説明できる. 特に歯科用局所麻酔薬について説明できる.	教科書による自己学習	自己ノート作成	

通 年随時	血管収縮薬 血管収縮薬を添加する目的, アドレナリンならびにフェリプレシンについて説明できる. また, 血管収縮薬と他の薬物との相互作用を説明できる.	教科書による自己学習	自己ノート作成	
通 年随時	局所麻酔に必要な解剖 伝達麻酔と浸潤麻酔のための解剖について説明できる.	教科書による自己学習	自己ノート作成	
通 年随時	局所麻酔法 表面麻酔, 浸潤麻酔, 伝達麻酔などの各方法について理解し説明でき, それらの方法を実践できる.	多目的診療室・中央手術室の手術症例や処置症例において実際におこなう。	自己ノート作成 100症例	
通 年随時	合併症とその対策 歯科医療に関連する局所のおよび全身的合併症を説明できる. また, それらの対策を実践できる.	教科書による自己学習 院内救急に随伴	遭遇した場合はレポート	
通 年随時	精神鎮静法 精神鎮静法の概念 その背景, 目的と特徴, 全身麻酔との相違, 適応と非適応 (禁忌) について説明できる.	教科書による自己学習	自己ノート作成	
通 年随時	吸入鎮静法 亜酸化窒素の性質, 亜酸化窒素吸入鎮静法の利点と欠点, その適応と非適応 (禁忌), 使用する器械・器具, 至適鎮静度について説明できる. また, 亜酸化窒素吸入鎮静法とその周術期管理が実践できる.	教科書による自己学習 多目的診療室で実際に行う。	自己ノート作成 麻酔記録よる反省	

通 年随時	<p>静脈内鎮静法 静脈内鎮静法の分類， 利点と欠点，その適応 と非適応（禁忌），使 用する薬物，使用する 器械・器具，鎮静レベ ルの評価とモニタリ ングについて説明で きる．また，静脈内鎮 静法とその周術期管 理が実践できる．</p>	<p>教科書による自己学習 実際に症例を担当する。</p>	<p>麻酔記録による反省</p>	
通 年随時	<p>その他の鎮静法 その他の精神鎮静法 について説明できる．</p>	<p>教科書および文献等で自己学習</p>	<p>自己ノート作成</p>	
通 年随時	<p>全身麻酔 全身麻酔 の概念と方法 全身麻酔の概念に ついて理解し説明で き，その方法ならびに 周術期管理を実践で きる．特に歯科医療に おける全身麻酔の適 応ならびに非適応（禁 忌）について理解し説 明でき，適応または非 適応を選択できる．</p>	<p>教科書および文献等で自己学習</p>	<p>自己ノート作成</p>	
通 年随時	<p>全身麻酔薬の作用機 序 全身麻酔薬の作用 機序，最近の全身麻酔 に関連する研究動向 について説明できる．</p>	<p>教科書および文献等で自己学習</p>	<p>自己ノート作成</p>	
通 年随時	<p>術前の全身状態評価 と管理 術前の全身状 態の評価と術前管理 について理解し説明 でき，実践できる．</p>	<p>歯科麻酔・全身管理科カンファレン スで説明発表</p>	<p>自己ノート作成</p>	
通 年随時	<p>吸入麻酔 吸入麻酔薬 の概念，摂取と分布， 導入に影響する因子， 生体機能への影響，排 泄と覚醒，麻酔深度 などについて説明で きる．また，吸入麻酔 法を実践できる．</p>	<p>吸入麻酔での全身麻酔を行う。</p>	<p>麻酔記録による反省</p>	
通 年随時	<p>静脈麻酔 静脈麻酔薬 の薬物動態，特徴，種 類，全静脈麻酔，麻酔 補助薬などについて 説明できる．また， 静脈麻酔法を実践で きる．</p>	<p>全静脈麻酔を行う。</p>	<p>麻酔記録による反省</p>	

通年随時	筋弛緩薬 筋弛緩薬を投与する意義，作用機序，適応，種類，筋弛緩作用に影響する因子などについて説明できる．また，筋弛緩薬を投与し，筋弛緩作用の拮抗を実践できる．	教科書および文献等で自己学習 実際の全身麻酔症例で行う。	麻酔記録による反省	
通年随時	麻酔器と麻酔回路 ガス供給装置，麻酔器，麻酔回路について理解し説明でき，それらを組み立てて実践できる．	実際の麻酔器で行う。	担当麻酔毎回点検を行う。	
通年随時	気道管理 気道管理の意義・必然性，上気道の解剖と機能，上気道閉塞の病態生理，気道確保，気管切開の適応について理解し説明でき，気道確保を実践できる． IX DAM (difficult airway management, 気道確保困難管理) 気道確保の困難な症例を抽出でき，気道管理計画を実践できる．	教科書および文献等で自己学習 歯科麻酔・全身管理科カンファレンス参加	歯科麻酔・全身管理科カンファレンスで発表	
通年随時	術中管理 麻酔記録，全身麻酔の導入・維持・覚醒について理解し説明でき，それらを実践できる． また，術中合併症の予防・対処について理解し説明でき，それらを実践できる．	教科書および文献等で自己学習 実際の全身麻酔で習得する	自己ノート作成	
通年随時	術後管理 術後管理の意義と目的，合併症の予防・対処とモニタリング，術後呼吸・循環・疼痛管理について説明できる．また，合併症の予防・対処とモニタリング，術後呼吸・循環・疼痛管理を実践できる．	教科書および文献等で自己学習 実際の全身麻酔で習得する	自己ノート作成	

通 年随時	輸液・輸血 輸液・輸血について理解し説明でき、それらを実践できる。	実際の全身麻酔で習得する	自己ノート作成	
通 年随時	麻酔管理上問題となる疾患 呼吸系疾患 かぜ症候群，気管支喘息，アスピリン喘息，慢性閉塞性肺疾患，拘束性肺疾患，喫煙などについて理解し説明でき，それらの麻酔管理を実践できる。	教科書および文献等で自己学習 実際の全身麻酔で習得する。	自己ノート作成	
通 年随時	循環系疾患 高血圧症，虚血性心疾患，心臓弁膜症，先天性心疾患，心筋症などについて理解し説明でき，それらの麻酔管理を実践できる。	教科書および文献等で自己学習 実際の全身麻酔で習得する。	自己ノート作成	
通 年随時	脳血管疾患 脳梗塞や脳出血などについて理解し説明でき，それらの麻酔管理を実践できる。	教科書および文献等で自己学習 実際の全身麻酔で習得する。	自己ノート作成	
通 年随時	代謝・内分泌疾患 糖尿病，甲状腺機能亢進症，甲状腺機能低下症，副腎機能低下症などについて理解し説明でき，それらの麻酔管理を実践できる。	教科書および文献等で自己学習 実際の全身麻酔で習得する。	自己ノート作成	
通 年随時	肝・腎疾患 肝機能障害や腎機能障害について理解し説明でき，それらの麻酔管理を実践できる。	教科書および文献等で自己学習 実際の全身麻酔で習得する。	自己ノート作成	
通 年随時	精神疾患 統合失調症やうつ病や双極性障害などについて理解し説明でき，それらの麻酔管理を実践できる。	教科書および文献等で自己学習 実際の全身麻酔で習得する。	自己ノート作成	
通 年随時	その他 肥満患者，自己免疫疾患患者，臓器移植後の患者，輸血拒否患者について理解し説明でき，それらの麻酔管理を実践できる。	教科書および文献等で自己学習 実際の全身麻酔で習得する。	自己ノート作成	

通年随時	口腔外科手術と全身管理 特徴 気道管理に関連した注意点などについて説明できる。	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	おもな口腔外科手術と麻酔管理 膿瘍切開術，顎顔面外傷手術，外科的矯正術，腫瘍切除術および再建術，唇顎口蓋裂手術などの麻酔について理解し説明でき，それらの管理を実践できる。	教科書および文献等で自己学習 実際の全身麻酔で習得する。	自己ノート作成 20症例 麻酔記録による反省	
通年随時	歯科患者の日帰り全身麻酔（外来全身麻酔） 歯科患者の日帰り全身麻酔の特徴 利点と欠点について説明できる。	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	日帰り全身麻酔の適応と禁忌 適応と禁忌について理解し説明でき，適応または禁忌を選択できる。	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	日帰り全身麻酔の実際 周術期管理について理解し説明でき，その管理を実践できる。	教科書および文献等で自己学習 実際の全身麻酔で習得する。	自己ノート作成 20症例 麻酔記録による反省	
通年随時	1小児の麻酔管理 小児の特徴 小児の解剖・生理・薬理学的特徴，小児麻酔の特徴を説明できる。	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	小児麻酔の実際 小児麻酔の周術期管理を理解し説明でき，その管理を実践できる。	教科書および文献等で自己学習 実際の全身麻酔で習得する。	自己ノート作成 20症例 麻酔記録による反省	
通年随時	歯科小児麻酔の特徴 歯科小児麻酔の特徴を説明できる。	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	

通 年随時	高齢者の麻酔管理 高齢者の一般的注意点 複数の疾患に罹患していることが多い、疾患の症状が非典型的となりやすい、個人差が大きい、認知症や認知機能障害が多い、多剤を服用していることが多いなどの注意点を説明できる。	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通 年随時	生理的老化による変化 循環系、呼吸系、肝、腎、代謝・内分泌系、脳疾患系、血液などの生理的老化により変化が起きることを説明できる。	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通 年随時	高齢者の薬物療法 高齢者では薬物動態の変化と薬力学的変化があることを説明できる。	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通 年随時	高齢者に対する局所麻酔 局所麻酔に関係する口腔組織の加齢変化と高齢者に用いる血管収縮薬について説明できる。	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通 年随時	高齢者の精神鎮静法 高齢者に用いる亜酸化窒素吸入鎮静法と静脈内鎮静法について理解し説明でき、それらを実践できる。	教科書および文献等で自己学習 実際の全身麻酔で習得する。	自己ノート作成 麻酔記録による反省	
通 年随時	高齢者の全身麻酔 高齢者の全身麻酔に用いる薬剤と高齢者に特有な麻酔管理上の問題点を理解し説明でき、全身麻酔を実践できる。	教科書および文献等で自己学習 実際の全身麻酔で習得する。	自己ノート作成 麻酔記録による反省	
通 年随時	障害者の麻酔 障害者 分類と障害者の歯科医療について説明できる。	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	

通年随時	おもな障害・疾患と管理上の特徴 精神遅滞, Down 症候群, てんかん, 自閉症スペクトラム障害, 注意欠陥多動性障害, 重症心身障害児・者, 脳性麻痺, 重症筋無力症, 筋ジストロフィー, 精神疾患などについて説明できる.	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	術前管理 術前評価と術前の説明について理解し説明でき, それらが実践できる.	教科書および文献等で自己学習 実際の全身麻酔で習得する。	自己ノート作成 麻酔記録による反省	
通年随時	常用薬と麻酔に関連する薬剤との相互作用について 常用薬と麻酔に関連する薬剤との相互作用について説明できる.	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	麻酔法の選択 局所麻酔, 精神鎮静法, 全身麻酔について理解し説明でき, それらが実践できる.	教科書および文献等で自己学習 実際の全身麻酔で習得する。	自己ノート作成 麻酔記録による反省	
通年随時	術後管理 術後管理について理解し説明でき, それを実践できる.	教科書および文献等で自己学習 実際の全身麻酔で習得する。	自己ノート作成 麻酔記録による反省	
通年随時	ペインクリニック 顎顔面痛の病態と診断法 痛みの伝達, 顎顔面痛の病態, 顎顔面痛の診断法について説明でき, 診断を実践できる.	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	疼痛性疾患 一次性頭痛, 二次性頭痛, 神経障害性疼痛, 癌性疼痛, 侵害受容性疼痛, 非歯原性疼痛などについて説明できる.	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	感覚障害および麻痺性疾患の用語 感覚障害および麻痺性疾患の用語について説明できる.	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	

通年随時	三叉神経感覚障害 中枢性三叉神経感覚障害と末梢性三叉神経感覚障害について説明できる.	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	麻痺性疾患 顔面神経麻痺や三叉神経麻痺などについて説明できる.	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	口腔顔面領域の不随意運動 病的な不随意運動, 顎口腔ジストニア, 顔面痙攣, メージュ (Meige) 症候群, 口舌 (口唇) ジスキネジア, 顔面チックと疼痛性チックなどについて説明できる.	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	神経ブロックおよびその他治療法 ペインクリニックの薬物療法, 神経ブロックなどを説明でき, それらを実践できる.	多目的診療室にて実際に行う。	自己ノート作成	
通年随時	心身医学的療法 心身医学的療法の適応, 心身医学的療法, 心理療法, 薬物療法について説明でき, それらを実践できる.	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	東洋医学的療法 東洋医学における基礎概念, 診察および診断法, 鍼灸治療, 漢方治療などについて説明できる.	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	緩和医療 緩和ケア概念の変化, 緩和ケアにおける歯科麻酔医の役割, 癌性疼痛の種類, WHO 方式の癌性疼痛治療法の5 原則, オピオイドの副作用とその対処, 鎮痛補助薬, オピオイドローテーションなどについて説明できる.	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	

通年随時	1歯科治療における全身的偶発症 全身的偶発症の定義 全身的偶発症について説明できる。	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	全身的偶発症の実態 死亡例, 死亡に至らない全身的偶発症, 発生頻度などについて説明できる。	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	全身的偶発症の原因 全身的偶発症の原因について説明できる。	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	全身的偶発症の種類 アレルギー, 誤嚥・誤飲, 口腔内刺激や各種刺激によるによる血管迷走神経反射などについて説明できる。	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	全身的偶発症の処置 意識障害と意識消失, 血圧低下, 痙攣, 胸痛, 呼吸困難などに対する処置について理解し説明でき, それらの処置を実践できる。	教科書および文献等で自己学習 院内救急に随伴	遭遇した場合はレポート	
通年随時	1ショック I ショックの概念と分類 ショックの概念と定義, 分類, 原因, 病態などについて説明できる。	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	ショックの臨床症状 循環血液量減少性, 心原性, 心外閉塞・拘束性, 血液分布異常性などのショックについて説明できる。	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	ショックの治療 一般的アプローチならびに歯科診療室でのショック発症時における初期対応について理解し説明でき, それらの対応を実践できる。	教科書および文献等で自己学習 院内救急に随伴	自己ノート作成 遭遇した場合はレポート	

通年随時	心肺蘇生法 I 生命を脅かす状況の患者への対応 心肺蘇生法の歴史と救命の連鎖について説明できる.	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	一次救命処置 成人ならびに小児・乳児の一次救命処置について理解し説明でき, それらを実践できる.	教科書および文献等で自己学習	BLS受講	
2年目以降	二次救命処置 心肺蘇生におけるBLSの位置づけ, 気道確保, 電気治療, 成人の心停止に対するALSの実際, 蘇生の継続などについて理解し説明でき, それらを実践できる.	教科書および文献等で自己学習	ACLS受講	
通年随時	歯科医療におけるリスクマネジメント 歯科医療における事故の特殊性 歯科診療所における安全管理体制, 医療事故, 歯科医療の特徴, 歯科医療事故の特徴などについて説明できる.	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	医療安全管理の体制 医療安全管理の体制について説明でき, 体制を整えられる.	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	ヒヤリハット・アクシデント・医療事故 ヒヤリハット, アクシデント, 医療事故などについて説明できる.	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	
通年随時	医療過誤に関連する歯科医師の社会的責任 歯科医療ならびに歯科医療過誤に関する歯科医師の責任について説明できる.	教科書および文献等で自己学習	自己ノート作成	